

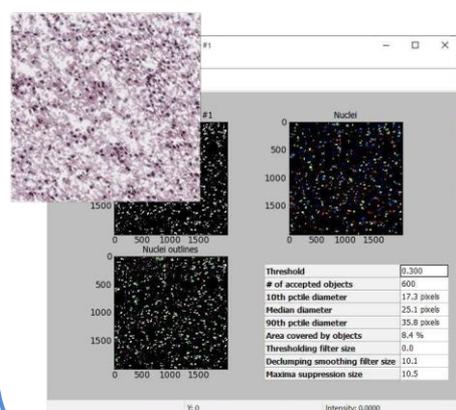
研究室概要:

情報処理研究室では、人間のように情報が処理できるような「知的情報処理システム」の創造を目指して、様々な研究を進めています。本研究室では、各種画像処理、ソフトコンピューティングとその応用、医療情報システム、福祉情報工学と多岐にわたります。

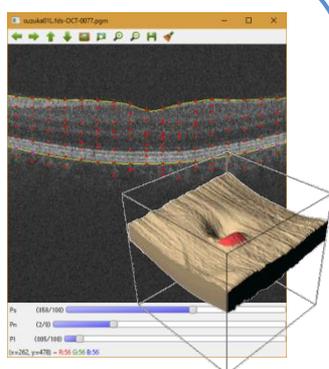
産学連携が可能な研究テーマ:

本研究室では、これまで多くの研究テーマにおいて国内外の研究機関や企業と「産学官連携」スタイルで共同研究プロジェクトを進めてきました。画像処理やデータ分析、ならびに情報システムに関するものであれば、いつでもご相談ください。

▼脳腫瘍(神経膠腫)の進行度評価



医用画像処理

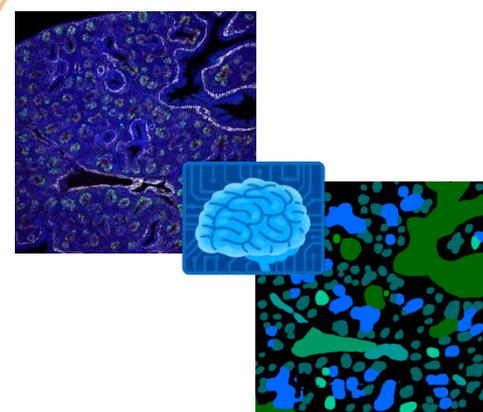


▲網膜のOCT画像を用いた疾患評価



▲動作認識技術を用いた認知症進行度評価システム

認知症診断支援



▲ディープラーニングによる自動画像セグメンテーション

ディープラーニング

准教授 川中 普晴

情報処理、特に医療や福祉に関する情報システムとそれに関連する技術について研究開発を進めています。これまで、院内の紙文書を電子化して類似症例を検索するシステムを開発してきました。また最近では、病理画像から疾患進行度を推定するための画像処理システムや蛍光染色画像を使った肺の構造発達解析についても共同研究を進めています。

福祉分野については、県内の介護福祉施設と共同で認知機能を評価するためのシステムについても取り組んでいます。また、動画画像から高齢者の運動機能を評価するためのシステムも開発しています。

その他、画像処理や情報システムに関する共同研究も随時受付しておりますので、下記までお気軽にご連絡ください。